

## 第1章 担い手を育てる

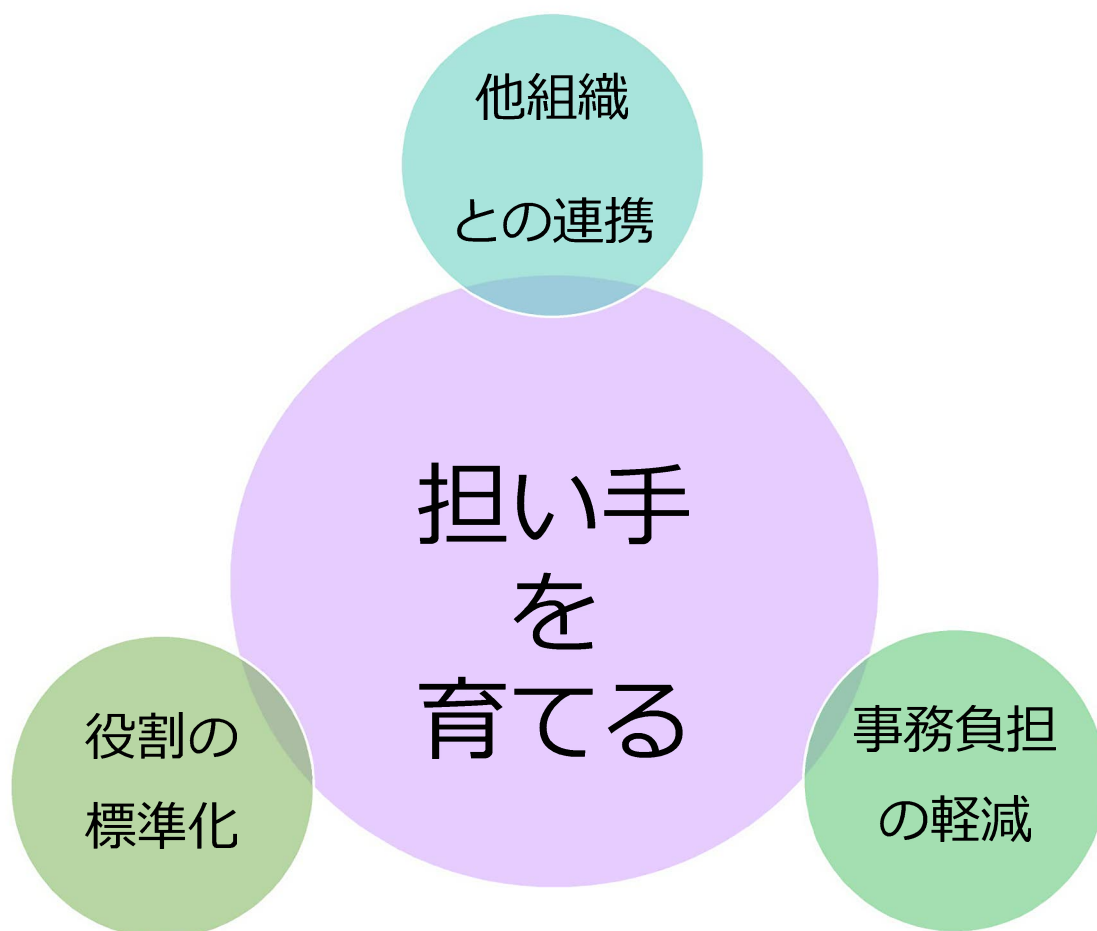
### 役員の高齢化・担い手不足に関する悩み

- ▷ 役職をいくつも兼務して個々の負担が大きくなっている。
- ▷ 会合などに参加するメンバーがいつも同じで、負担が偏っている。
- ▷ 新しい人材が入ってこないため役員を辞められない。
- ▷ 班長の順番が回ってくるの見計らって退会されてしまう。



#### ヒント

自治町会の内と外に目を向けて活動に取り組むことで、担い手の育成につなげる。



## 他組織 との連携

小・中学校のPTAや青少年地区委員会、地元の事業者、そのほかの団体などと連携することで、活動を活性化することができるのでは？

### 事例 小学校と連携した夕涼み会（金町地区・東金町中央自治会）

日頃から学校や地元企業などとコミュニケーションを図ることで、自治会でイベントを実施するときに協力してもらい、多世代での交流につなげる。



「お遊びから自治会活動へ」をモットーに、義務感ではなく楽しみながら関わることをとおして、担い手の拡充につなげる。



- ▶ 東金町小学校と連携し、児童による演奏を実施している。
- ▶ 楽器運搬などは、地元の高校生のお手伝いを募っている。
- ▶ 地元の金融機関から駐車場を借りて開催している。

### 問検委員の地元での取組

#### 【お花茶屋地区・お花茶屋町会】



継続的に小中学校へ顔を出し、町会のイベントなどに参加できる人を募っている。PTAや青少年地区委員会に声掛けすることで、若い世代が町会に参入するきっかけとなる。

#### 【亀有地区・前津会】



子ども会で取り組んでいる資源回収を町会がサポートすることで若い世代とのつながりが生まれた。

#### 【水元地区・水元中之橋町会】



中之橋フェスティバルで、宮城県登米市や山梨県勝沼市の団体と連携し、物産販売コーナーを設けている。

## 事例 大学生と「学んで遊ぶ・実験教室」(新小岩地区・新小岩第四自治会)

東京理科大学の学生に依頼して、「学んで遊ぶ・実験教室」を自治会館で実施した。子どもをとおして若い世代が自治会館に集うきっかけとなった。



知り合いの学生に協力してもらうことで、新たなイベントを実施することができ、活動の活性化につながった。



- ▶ 地域のソフトボールチームをとおして知り合った学生と連携した。
- ▶ 学びの場への関心は高く、20人以上の親子が参加した。
- ▶ 幅広い世代が自治会館に集まった。
- ▶ 教える学生にとおても、地域に貢献する機会となった。

## 事例 新小岩駅北口広場夏祭り(新小岩地区・新小岩第六自治会)

4年に1度の新小岩天祖神社例大祭が見送られた中で、地域の和を広げるために企画し、新小岩北口商店会や東京聖栄大学、福島県塙町などと協力して実施した。



感染症対策に留意しながら、大学・商店街・地方都市と連携して葛飾区の南の玄関口の賑わいを創出した。



- ▶ モンチッチのブースを設けるなど、地域ならではの雰囲気をつくった。
- ▶ 東京聖栄大学が焼きそばなどの模擬店を担当し、校外活動の場になった。
- ▶ 塙町の野菜販売や木工教室を実施し、地方都市のPRにつなげた。
- ▶ 会場には3,000人が来場し、商店街など周辺の賑わいを高めた。

## 事務負担 の軽減

これまでの事務の進め方を見直して、パソコンを導入したり、外注できるものを一部委託することで、事務の効率化や負担軽減につながるのでは？

### 事例 役員をサポートする事務局を外部委託（柏市・北柏町会）

町会の業務やそれぞれの役割が見える化し、誰でも確認できるように共有することで、活動を担いやすい運営体制を構築した。



事務局を外部委託し、運営の効率化を図った。事務局が町会会館に常駐し、新しい役員も気軽に相談できる場とした。



北柏町会 ▶



<http://www.kitakashiwa.net/>

- ▶ ITに詳しい地域の人に事務局を委託した。
- ▶ 町会ホームページをとおして情報を共有し、いつでもどこでも町会資料を確認できる。
- ▶ 担っている業務の時期・内容・手順などを明らかにした。
- ▶ 2016年から、名簿のデータ管理に取り組んでおり、随時更新している。会費集金のほか、見守りの活動などに役立てている。

### 問検委員の地元での取組

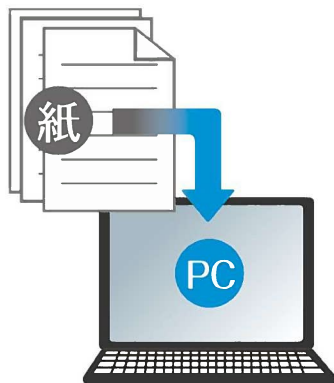
【新宿地区・協栄自治会】



高齢の役員がやぐらを組んでいたが、身体的な負担の軽減を図り、運営に注力できる体制とするため、設営などを外注した。

## 事例 会計収支などパソコン管理を充実（四つ木地区・篠原町会）

町会名簿を更新するにあたり、パソコンを新たに導入し、データ化に取り組んだ。毎年の会費納入状況も一覧で分かるため、班長や役員の引継ぎが円滑になる。



長期的に情報を整理・更新する。

- ▶ パソコンは、パスワードを設定して名簿管理・会計専用とするなど、個人情報に留意する。
- ▶ 一度に進めるのではなく、班・地区ごとのように、少しずつ有効性を確かめながら整える。

### パソコン管理の充実に向けた無料テンプレートの活用

マイクロソフトのホームページでは、会計報告書や議事録、会報や行事案内ポスターなど、効率的な資料の作成に役立つひな型を公開している。

Office テンプレート>街活特集>町内会・自治会の活性化に▶  
<https://www.microsoft.com/ja-jp/office/pipc/chiiki/04.aspx#coreui-banner-nv6gpt6>



### 問検委員の地元での取組

#### 【水元地区・水元中之橋町会】



班長の役割を会費の集金と回覧板のスタートのみにするなど負担を減らすことで、若い世代でも担えるようにしている。

#### 【高砂地区・細田五丁目町会】



集団回収の運搬を自前で行っていたが、事業者に委託した。

#### 【奥戸地区・奥戸町会】



40代を過ぎてゆとりができると、徐々に夜の会合などに出席してくれるので、育成期間は必要だと感じている。若い世代に役員を任すことは負担が大きいため、長い目で見ること大切である。

#### 【金町地区・東金町中央自治会】



役員は、地域のために活動しているため、役職に応じて活動費を支給している。

## 役割の標準化

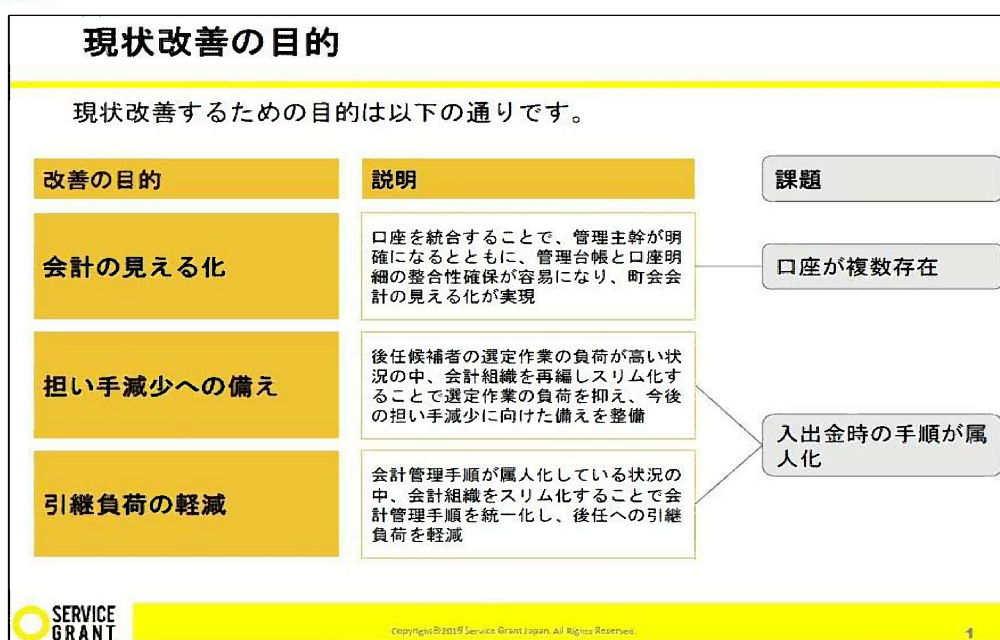
これまでの運営体制や活動方法について、いったん洗い出しを行って整理することで、新しく活動に携わる人がより関わりやすい環境につながるのでは？

### 事例 運営業務の棚卸し（東四つ木地区・東四つ木南町会）

「地域の課題解決プロボノプロジェクト」に申し込んで支援を受けた。運営業務の棚卸しをとおして、これまでのやり方を見直すことで、誰でも担える分かりやすい体制につなげる。



運営の見直しなど自分たちで取り組みづらいことは、公的支援をうまく活用する。



- ▶ 民間で働く若いボランティアのもとワークショップを重ねた。
- ▶ 今までのやり方と課題を整理した。
- ▶ 属人的だった会計業務に着目し、会費集金の手順書や名簿の作成を始めた。

参考資料 P.28 自治町会に対する側面支援

### 問検委員の地元での取組

【金町地区・東金町中央自治会】



役員の減少に伴い、防災と防火の分科会を統合するなど、活動の持続に向けて組織のスリム化に取り組んだ。